

12月定例会

一般質問

12月定例会では15人の議員が市政に対する一般質問を行いました。



一般質問とは、議員が高山市政全般にわたり、事務執行の状況及び将来に対する方針などについて所信を質すとともに、報告、説明を求め疑問を質すものです。

QRコードから各議員の一般質問をご覧ください。配信は会議録が調製され次第終了します。(タブレット・スマートフォンに対応。通信料は別途発生します。)

GIGA スクール構想の 今後は

高山市議会公明党
中 箴 博 之



問 対面での支援が行き届かない不登校の児童生徒に、インターネット上の仮想空間を活用した支援が居場所づくりとしても学びの保障という意味からも有効と考えるが導入の考えは。

答 学びの多様化教室にじ色を開設したが、広い市域からの通学には課題もあり、アバターを介して他者とやり取り出来るメタバース空間は、個別の教科の学習にも新たな居場所としても有効で、これまでの家庭訪問等の支援に加え、にじ色と児童生徒をつなぐメタバースの導入について検討していく。



プロポ・入札で市が 参加企業と事前接触？

創政・改革クラブ
倉 田 博 之



問 『飛騨の里』等の指定管理のプロポーザル及び入札が行われる数か月前、「『飛騨の里』他について、市から指定管理の相談があった。市長に採択を願っていく。」と県外企業の社長が流した社内メールが存在し、その後、市は同社の対象物件の指定管理受託を決定した。当時の指定管理者であった市内企業の業務状況は優良であり、敢えて県外の新規参入企業を一本釣りしなければならぬ状況ではなかった。著しく公平性や透明性に欠け、各種法令等にも背く行為であると捉えられる。

答 どういう意図で社長が書いたのかわからないが、市長は市長選以前から社長と全くコンタクトを取っていない。誤解を持たれたのであれば社長に抗議したい。



幼稚園・保育園・小学校の 連携について

無会派
片 野 晶 子



問 子どもの健やかな成長に親子や地域の愛着形成は重要である。森林豊かな当市において様々な団体がイベントを開催し貢献している。森林環境譲与税の活用で参加料の補助、又相談窓口の開設はできないか。

答 民間団体が行うイベント等への森林環境譲与税を活用した支援制度はないが、県の森林環境税や緑の募金を活用した支援事業、「ひだ木遊館木っずテラス」を拠点に開催されるイベント等への支援を行っている。森林・環境政策部が相談窓口となり申請方法等の周知を図り、民間団体の行う自然体験イベントの告知支援等を検討する。

